

## ルネサンス・フランセーズ第6回栄誉賞授与式レポート

2024年3月19日、フランス大使公邸にて第6回栄誉賞授与式が開催されました。2023年11月にパリ本部の上級審査会で発表となった受賞者への授与式となり、日本では下記の方々が受賞されました。(敬称略)

- \*ルネサンス・フランセーズ大賞 メダイユ・ドール 磯村 尚徳 (故人)
- \*フランス文化普及賞 メダイユ・ドール 秦 早穂子
- \*フランス文化普及賞 メダイユ・ドール 堀 茂樹
- \*フランス文化普及賞 メダイユ・ドール 宮城 聡



開会の挨拶をされたルネサンス・フランセーズ日本代表部名誉会長でもあるフィリップ・セトン大使からは上記3名のフランス文化普及賞メダイユ・ドールの受賞者に対し「映画作品の振興、文学作品の翻訳、演劇作品の創作などを通じて、受賞者おひとりおひとりが両国の文化的・知的交流に貢献されている。またルネサンス・フランセーズの目的と価値観をも体現されている」との称賛のお言葉をいただきました。

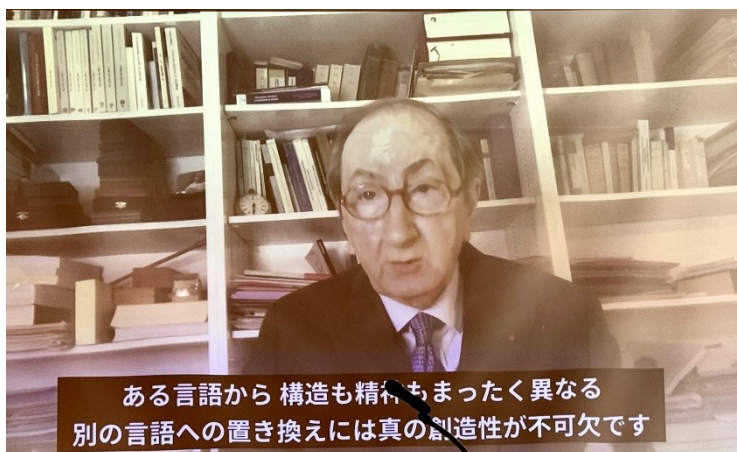
また授与式を待たずに逝去された磯村氏に対しては「フランスとフランス人のことを熟知しておられフランス人の資質も欠点も間違いなくご存知だった。彼の貴重な助言を忘れることはないだろう」と語られました。



日本代表部瀬藤澄彦会長の主催者挨拶と中島厚志審査委員長の挨拶に続き、国際交流基金の梅本和義理事長から来賓挨拶をいただきました。

日本と他国との文化交流を促進する国際交流基金の機関のひとつであるパリ日本文化会館の初代館長を務められた磯村氏の功績を称えられると共に 2023 年第 50 回国際交流基金賞を受賞された宮城氏の今回の受賞にお祝いを述べられました。

ドニ・ファダ世界会長からのビデオ・メッセージに続き、セトン大使から各受賞者へメダルの授与、中島・篠塚・渡辺の各審査委員から賞状が手渡されました。昨年 12 月に他界された磯村氏につきましてはご子息の磯村尚賢氏に授与させていただきました。







メダル授与に続いて受賞者からご挨拶をいただき、それぞれの思いを語っていただきました。磯村氏からは亡き父にとってフランスがいかに大切な存在であったか、秦氏からは映画と共に生きた人生と戦争を経験したご自身の平和への願い、堀氏からは翻訳の神髄と今回の受賞は信頼できる編集者のお蔭でもあったという感謝の念、宮城氏からは拍手だけでなくブーイングを経験したこともあったが、どんな場合でも観客の反応により芸術性を高めることができたご自身の演劇人生について・・・感動的な受賞者のスピーチに参加者は聞き入っていました。秦氏の推薦者である岸恵子氏から届いた祝電も披露されました。





荣誉赏授式がつつがなく終了した後、フランソワーズ・モレシャン名誉会員の乾杯の辞で会場は一転祝賀ムードに包まれました。今回の授与式にはニコラ・ティリエ公使、シャルル・アンリ・ブロー文化参事官、フレデリック・ペニヤ東京日仏学院館長、ガエル・オスタン氏、コリーヌ・カン



タン氏、錦織舞氏、平野有氏、山中陽子氏など過去の受賞者もご参列くださり、ルネサンス・フランセーズ会員の皆様と交流を深めていただきました。



盛会の下、第6回栄誉賞授与式は閉幕しました。

尚、この度は在日フランス大使館様、メゾンカイザー様、(株)愛宕小西様の多大なるご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。



撮影：藤崎貴子・荒木誠      レポート：森由美子